

会 議 録

会 議 名 称	令和4年度 第1回加古川市スポーツ推進審議会
開 催 日 時	令和4年5月12日（木）午後7時から午後8時00分まで
開 催 場 所	加古川市立勤労会館 201 会議室
出 席 者	<委員> 森田会長、小林委員、戎木委員、破魔委員、三上委員、西川委員、小寺委員、長谷中委員 <市> （市民協働部）大歳部長、栗山次長、井上参事 （スポーツ・文化課）小口副課長、荻内担当副課長、山中係長 垣内書記 （学校教育課）高橋担当課長、大西指導主事
会 議 次 第	開 会 1 会長あいさつ 2 部長あいさつ 3 審議事項 （1）スポーツ団体への補助金の交付について （2）加古川市スポーツ推進計画関連事業の進捗状況について （3）コロナ禍のスポーツ実施状況に関するアンケートについて 4 報告事項 （1）学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について （2）スポーツ能力測定会の実施について 5 その他 閉 会

審議内容（発言者、発言内容、審議経過等）	
開 会	
1 会長あいさつ	会長あいさつ
2 部長あいさつ	部長あいさつ
3 審議事項 （事務局）	（1）スポーツ団体への補助金の交付について <事務局説明>
（会長）	補助金交付要綱により補助対象経費の10分の9以内の補助となっているが、令和4年度補助金額は、例年と同等か？

(事務局)	令和３年度と同額。
(会長)	了承。これについて何か意見はあるか。 ないようなので、加古川市体育協会への補助金交付について委員の賛否をとりたい。
(委員一同)	賛成。
(事務局)	(２) 加古川市スポーツ推進計画関連事業の進捗状況について ＜事務局説明＞
(会長)	加古川市スポーツサポーターは、どのような研修を受けて登録されたのか。
(事務局)	障がい者がスポーツに参画できるようサポートをするため、主に車いす対応や障がい者スポーツについての講座を３回受講いただいている。
(会長)	コロナ禍でイベントがなかったと思うが、加古川市スポーツ推進計画関連事業一覧 p 3 の「③障がい者スポーツの実施機会の増加」にある事業と連携し、今後定期的に依頼し、活動機会を増やしてほしい。
(委員)	加古川運動公園陸上競技場は、段差が少なく、全国の車いすの選手が練習や合宿で利用したい施設と聞いている。障がい者スポーツを含め市内の素晴らしい施設を活用してスポーツを益々発展させてほしい。 スポーツ能力測定会の場所・対象人数・規模・周知方法等は？測定結果のフィードバックはあるのか？
(事務局)	今年度は総合体育館で小学校高学年約 200 名を対象に実施予定。市内小学校を通じて、対象学年の全児童にチラシを配布することを考えている。測定会の結果はその場でフィードバックがある。測定結果を受けて、スポーツクラブや体育協会などスポーツを行う場へつなげたい。
(委員)	最近、子どもがスポーツを敬遠しているように思う。スポーツ能力測定会で自分の能力や特徴を知ることによって子どもがスポーツを行うきっかけになればいい。
(会長)	個々が気軽に参加できるように学校へ呼びかけをお願いしたい。 また体育協会と協力して、向いているスポーツを体験し、継続できる体

(会長)	制がとれるといい。学校体育でできないスポーツや、競技人口が少ないマイナースポーツは、これをいい機会と捉え、力を入れると考えられる。加古川市が力を入れているカヌーなどにつなげることもできるだろう。 「(3) スポーツに関心のない人への働きかけ」の分類の事業であるため、スポーツに関心のない人を意識した事業であってほしい。
(委員)	毎年 11 月 3 日に加古川市スポーツネットワーク委員会主催で開催している加古川スポーツカーニバルにおいて、加古川市スポーツ推進委員が体力測定を行っており、毎年多くの市民が測定に来るので、さらなる事業の充実ということで継続していきたい。
(委員)	来年度以降の予定は？
(事務局)	令和 4 年度は予算化されたが、現状では令和 5 年度以降の予算を担保されているわけではない。ただし、事業を実施する限りは一定期間継続し、効果を図りながら実施していきたいと考えている。
(委員)	NPO 法人加古川総合スポーツクラブの会員減少が止まらず、中学校の部活動改革の受け皿になれば人数確保もできると考えている。ただし、中学校顧問の指導に匹敵する指導力については課題があると考えている。 加古川市スポーツ推進計画関連事業一覧 p 1 の「①幼児を対象とした運動遊びの充実」に「親子ふれあい体操」があるが、先日、兵庫県スポーツ推進審議会において、「親子」の標記を「保護者と一緒に」に、「家族」の標記を「多世代と一緒に」に変更していた。加古川市においても、今後の標記について検討する必要があるのではないかと考える。
(事務局)	(3) コロナ禍のスポーツ実施状況に関するアンケートについて ＜事務局説明＞
(委員)	アンケートの回答は、紙面のみか？
(事務局)	アンケート回答フォームを作成するため、インターネット回答も可。
(委員)	スポーツ実施率は、年齢によって男女差がでると思うので、性別も回答してもらいたいのではないかと考える。
(委員)	統計データ上は性別を聞く方がいいと考える。ただし、現代社会において性別確認を控える傾向もあるため抵抗もある。

	実施要項に対象者は市民、とあるが、回答用紙には居住地を問う設問がない。市民以外が答えないように工夫する必要があるのではないか。
(会長)	市内施設の利用者や市内在勤・在学の人等も対象者としてよいだろう。
(委員)	太極拳教室を開講しているが、今年度申込が殺到しており、体力不足を感じる方が増えているのではないかと感じた。本アンケートは大変興味深いので、多くのデータが取れるよう周知してほしい。
(会長)	本日出た意見を踏まえて、事務局でアンケート実施をお願いしたい。
4 報告事項 (事務局)	(1) 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について ＜事務局説明＞
(委員)	加古川市全域にはどれくらいの期間で移行していくのか。月1回程度の試行プランでしばらくの間様子をみるのか。
(事務局)	国の方針に準じ、令和5年度から令和7年度までの3年間で地域移行を完了する。まずは試行プランを実施し、解決すべき課題を洗い出す。
(委員)	試行プランで洗い出された課題を、現場・中体連・教育委員会で連携しながら進めていく。近年、教員の仕事が増えており、部活動に特化して取り組むことができない。月1回の試行プランから徐々に増やしていけるよう検討を進めていく。
(委員)	NPO 法人加古川総合スポーツクラブでは、活動場所や、学校施設の鍵の開け閉め等については既に体制が整っており、地域部活動の受け皿となるのが理想的と考えている。ただ、会員の減少、高齢化により指導に課題がある。指導者の指導はどこがするのか。
(会長)	市町体育協会が中心となり、県競技団体と協力しながら指導者育成をしなければならないと考える。また、今の部活動をそのまま地域に移行することは現実的に厳しいため、新しい部活動の在り方を考え直しながら進めていかなければならないだろう。
(委員)	部活動は、人間形成や考え方を学べる教育の場でもあったので、地域部活動に移行するにあたって、敷居を高くせず、スポーツに参画できる環境であってほしい。スポーツを楽しむ子どもから、トップアスリートを目

	指す子どもまで、バランスが取れた仕組みづくりをしてほしい。
(委員)	平日の教員による指導と、土日の地域指導者による指導で、内容が大きく異なると子どもも戸惑うだろう。様々な課題が出てくると思うが、試行錯誤しながら進めてほしい。
(会長)	最近、新聞報道などにより大きく取り上げられているので、地域でのフォーラムなどがあってもよいだろう。段階的に市民に情報を出すことを検討してほしい。
(委員)	試行錯誤で進めていき、課題を洗い出し、改善しながら進めていかなければならない。市民や関係者への情報発信を正しく行うことが重要だと考える。いいことも悪いことも発信しながら加古川市流で改革を進めてほしい。
(事務局)	(2) スポーツ能力測定会の実施について ＜事務局説明＞
5 その他 (事務局)	・令和4年度スケジュールについて ＜事務局説明＞
閉 会	